

暑中御見舞い申し上げます。

元旦に引いた第一番大吉のおみくじを懐に、ビジネスで、プライベートで、日本全国を飛び廻っております。無事、我が家へ戻れるのは、おみくじのお陰です。

半年間に立ち寄った18府県の印象なり感想を、趣きを変えて御紹介致します。例によって、駄洒落的な部分には、しっかり御理解を得たいと思います。そして願わくば、小生の元気の源にも……。

今回はヒト土地ひとつ、立ち寄りし順に五七五。

愛知 旅立ちと 尾張良ければ 全て良し
宮城 アオバ城 想い出返す ヤマビコよ
兵庫 実るほど コウベを使う 港かな
大阪 タイハンは 阪神阪急 応援し
埼玉 浦和かき 乙女は変わり 咲いたママ
福岡 郊外も 高価福岡 土地ブーム
長崎 矢太楼で 食べる料理は 夜景つき
石川 小松たな 全席禁煙 ヤスモーカー
広島 中国路 結ぶ便りの 黄砂かな
島根 総理より 願い叶えし 大社かな
山口 津和野まで 山口と思う ミス多し
静岡 温暖な 土地柄ゆえに ココロ静岡
神奈川 マイホーム 神奈川叶わぬ 抽選日
富山 どこよりも ゆったりしている ヒトトヤマ
福井 電話帳 捜す気になる アツサかな
香川 潮の香で 元気ノモトが タカマツタ
愛媛 隣席の マドンナ横目に 旅疲れ
岐阜 長良えば カヨウ心が ギフトして
旅の楽しみはヒトとココロとリョウリです。

残る半年で新たな土地に行くことがあれば、倍以上楽しみます。折角の八八年、ダブル末広がり旅をします。

最後は、やはり旅にちなんで五七五。

旅立テバ タビタビガヨシ 旅ダヨリ

夏…ing

春秋の
暖簾のたばを分けて

夏なつだより

F M横浜で、現在東京で一
番オシヤレで注目を浴びてい
る街——駒沢。今回の便りが、
駒沢発の七号目です。センス・

アップをめざし、GO!!

▼(NO 76 秘話) 先月のダジャレ・オン・パ
レードのそもそもは、六月二十八日の日経新
聞「春秋」欄に端を發します。ライオン商事
相談役山下廣藏ひろくさ氏が、積年のダジャレ哲学を
『たまには阿呆ンになってみなはれ』とい
本にまとめたということが紹介されていまし
た。山下大先輩には及ぶべくもないが、何と
かチャレンジしてみようと書いたのがNO 76
でした。

▼なかなか梅雨も明けず、暑くもなかったけ
れど、ともかく投函開始。日経新聞知人若手
記者若杉氏に、「春秋」氏を通して、山下さん
へ渡して下さいと頼みました。暑中御見舞い
じゃなくて、笑中御見舞いということ、渡
して下さいと頼んだという次第です。

▼「春秋」氏からの電話があったのは、当初
の梅雨明け予定の十八日も過ぎた二十二日。
「七月二十四日の『春秋』欄で紹介したいん
ですが……」とのこと。久し振りに、驚きま
した。まだまだ、元旦のおみくじが効いてる
のかと思いましたが、今回は長梅雨のお陰と
思い直しました。加えて、驚いたのは、山下
さんからも、著書と共に、贈り物があつたこ
とでした。

▼七月二十五日に詠む

さんしたこそぞう

(山下廣藏)

野ニ花笑イ山谷ニ鳥唄ウ

本懐ナリ全国洒落ノ旅

浩然之氣満ニチテ人心ニ

一期一会爆 笑ノ縁

言うまでもなく、ワタクシの名前の入った
詩で、楽しさ倍増の贈り物であります。

▼ということで、夏……ING。冒頭の句を、
今号登場の若杉さん、「春秋」氏こと片野博司
さん、大先輩山下さんに、献げることと致し
ます。ありがとうございます。

「野本君，山下です。伝笑鳩*の返事が幾つか来てるぞう」

「これから，楽しみですね」

「そうなんだよ。所で，伝笑鳩と掛けて何と解くかね。今後も，皆さんに出していくには，援助が必要だなあ，なんて考えていたら，浮かんだぞう」

「お金は必要ですね」

「エスキモーの子供だよ，きみい」

「その心は何ですか」

「カンパ（寒波）で育つ。どうかね」

.....

二人受話器を持って3分は笑った。

*：山下廣藏氏が始めたジョークの会の会報。伝書鳩に掛けてます。

昨年一番嬉しかったのは，山下廣藏氏（ライオン商事元社長）と出会ったことでした。5月12日，小雨でした。昨年一番淋しかったのは，その山下氏が，亡くなられたことです。心臓の発作で入院される迄の半年の間に，十数回も飲んで話して駄洒落を連発・・・最後はいつも笑顔に寄り切られてばかりでした。

ご冥福をお祈り申し上げます。